

秋本みちゆき県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

あき もち

享志

秋本みちゆき県議会リポート

●センターへの支援
秋本議員 近年、全国各地で風水害や地震などの災害が激甚化・頻発化しており、災害発生時には行政はもとより、個人のボランティアやNPOなどの団体が、様々な被災者支援活動を行なうなど、被災地の復旧・復興や、被災者の生活再建に重要な役割を果たしている。特に、大規模災害時に被災者を支え、復旧に大きな

千葉県災害ボランティアセンター
新年度から経費負担へ
知事

力となるのがボランティアであり、ボランティアを受け入れ、地域への振り分けや役割分担等の調整を行うのが、災害ボランティアセンター（VC）である。

千葉県内でも令和元年、一連の災害の際には、県内27の被災市町に設置された災害VCなどを通じ、県内外から集まつた延べ3万7千人以上のボランティアが、千葉県災害ボランティアセンターは、ボランティア活動の更なる円滑化に向け、センター運営

などの作業にあつたという。また、県が設置した千葉県災害VCでは、市町村の災害VCの立ち上げや運営、ボランティア希望者の情報発信などの支援を行なった

イア活動の円滑化を図るために、県が設置をするものであり、千葉県社会福祉協議会をはじめとする民間団体により運営をされます。

●指導員の配置状況

秋本議員 县では千葉県社会福祉協議会に、高い専門性を持つ指導員を配置し、市町村等に対して指導や支援を実施していると聞いています。

ティアセンター運営団体と連携した訓練の実施により、役割の分担の確認やセンター設置手順の習熟を図つておらず、来年度からは、ボランティア活動の更なる円滑化に向け、センター運営

千葉県災害ボランティアセンター
新年度から経費負担へ
知事

●センターへの支援
秋本議員 近年、全国各地で風水害や地震などの災害が激甚化・頻発化しており、災害発生時には行政はもとより、個人のボランティアやNPOなどの団体が、様々な被災者支援活動を行なうなど、被災地の復旧・復興や、被災者の生活再建に重要な役割を果たしている。特に、大規模災害時に被災者を支え、復旧に大きな



2月県議会一般質問

●白井交差点の改良状況
秋本議員 県道市川印西市に至る幹線道路である国道16号や464号に接続し、市民の日常生活にも欠かせない道路でまた、広域的な経済活動を支える重要な道路でもある。

しかし、国道16号と交差する白井交差点では、右折レーンがないことから交通

線は、白井市の中央を東西に横断し、市川市から印西市に至る幹線道路である。国道16号や464号に接続し、市民の日常生活にも欠かせない道路でまた、広域的な経済活動を支える重要な道路でもある。

しかし、国道16号と交差する白井交差点では、右折レーンがないことから交通

●清戸地先交差点の改良
秋本議員 北環状線の末開通区間を迂回するように国道と白井市道が接続して

●北環状線の廃棄物対策
秋本議員 白井市の道路ネットワークは、南北方向には国道16号、東西方向には国道464号北千葉道路と

国道464号北千葉道路と

いた幹線道路が骨格軸と

交差点

2月県議会・一般質問

本県有数のナシの産地、白井市選出の秋本享志議員は、2月県議会の一般質問に登壇。まず、懸案の道路問題を取り上げ、白井交差点の改良、北環状線の廃棄物対策などについてただした。また、白井市の実績をあげて梨の生産振興策を質問した。他の質疑を含め、概要をお伝えする。

そこで伺う。県道市川印西線・白井交差点改良の進捗状況はどうか。

国土整備部長 白井交差

滞留に起因する渋滞が発生しているため、右折レーンを設置する交差点改良と歩道拡幅を計画しています。

現在、現地において、交通量調査や測量を実施しております。白井市や国と調整を図りながら、交差点改良に取り組んでまいります。

県道千葉ニュータウン北環状線は、国道464号の迂回路としても利用されて交

通量が多いが、白井市の一部

区間で、市道を経由する暫

県道千葉ニュータウン北環

状線は、国道464号の迂

回路としても利用されて交

通量が多いが、白

栽培面積・収穫量・産出額

日本一。千葉のナシ

「产地計画」が推進



自席から再質問する
秋本議員

おける「果樹産地構造改革計画」の策定状況はどうか。
また、県はどのような支援をしているのか。
農林水産部長 県では、
産地ごとの課題を解決することにより競争力を高めるため、将来の目指すべき姿や、

●「产地計画」の策定と支援

秋本議員 県では、現在策定中の「千葉県農林水産業振興計画」の中で、本県果樹振興の第2回果樹産地構造改革計画「一般的に产地計画」と呼ばれている計画の策定と実践を掲げている。

特に果樹は、長期的な視点で取り組む必要があり、そのためには、この产地計画が重要な役割を果たす。また、この計画策定により、改植によって収入がな

くなる期間の栽培管理経費の支援も受けられるなどの大きなメリットがある。

我が地元の白井市では、県内に先駆けて、平成19年3月に、この产地計画を策定し、国の事業を活用するなどして、梨の老木園の改植や省力樹形の導入などを計画的に進め、着実に成果が表れている。

県内の多くの果樹産地が「产地計画」を策定するよう、県は積極的に支援をしていくべきと考えるが、本県に

●「梨の販売促進への取組」
秋本議員 千葉県は、日本梨の栽培面積、収穫量、産出額が全国1位の名実ともに日本一の産地であり、白井市、鎌ヶ谷市など県内の各産地が切磋琢磨を続けた結果、品質・味ともに高い評価をいただいている。

私の地元・白井市でも、「じろいの梨」が地域団体商標として登録されており、消費者においしい「じろいの梨」を届けるために、たゆまぬ努力と栽培技術の研鑽を続けています。

一方、国調査では、消費者が購入する国産果実の数量は減少を続け、特に20~40代の若い世代で摂取量

が少ない。また、インターネット購入が増えるなど、消費者の購買行動は大きく変化していることから、梨についても、ニーズに合わせた販売促進や、若い世代へのPRなど消費者の梨を届けるために、たゆまぬ努力と栽培技術の研鑽を続けています。

県では、梨の販売促進にどう取り組んでいくのか。農林水産部長 新鮮で美味しい県産梨の特徴を、多くの消費者に知つていただきたいため、県では生産者団体と連携し、「千葉なし味自慢コンテスト」や量販店での梨フェアの開催、道の駅における新品种「秋満月」のPRなどにより、生産者の高技術や県産梨の魅力を消費者に直接知つていただけけるよう取り組んでいるとじ「幸水」の苗木を植えて、

●「温暖化対策も急務」
秋本議員 昨年は、温暖化の影響で、梨の開花時期が前進化して作業日程がズレたことがあった。梨の栽培は、苗木を停職してから30年以上にわたり、栽培技術の進歩により生育状況の変化のほか、夏季の高温による果実障害や秋冬の低温期間の不足による芽芽障害の発生などが起きております。

このため、県では、ICTを活用して開花や病害虫の発生時期を予測する梨なびアプリの開発や、温暖化の影響を受けやすい「新高」に代わる「秋満月」の育成普及、芽芽障害を軽減するための施肥方法の改善などに取り組んでおります。

取組などを定めた果樹産地構造改革計画の策定を推進しており、これまでに梨をはじめ、ビワや柑橘類など、10の产地において計画が策定されています。

また、計画の策定や改定が行われる場合には、生産者等で構成する产地協議会に対し、課題の分析や方向性などについて助言するほか、計画に基づく取組については、国の助成制度に加え、

県でも独自に補助を行っております。

今後とも、より多くの产地で計画が策定され、課題解決に向けた取組が進むよう、関係機関と連携し支援してまいります。

秋本議員 「果樹経営支援対策事業」は、大変有用な事業だが、現在の制度では、同一の品種への改植、例えば梨の「幸水」の老木園に、同じ「幸水」の苗木を植えて、

园地の若返りを図ることは認められない。

地元の白井市の農家からは、同一品種の改植も対象にしてほしいとの声が多くあり、私からも改めて要望する。

農家がより活用しやすい事業となるよう、国に対する積極的な働きかけを要望する。

新たな食文化創る

●食文化創生事業の目的

秋本議員 本県は、全国有数の農林水産県で、「食の宝庫」と呼ばれるように、梨、落花生、ネギ、豚肉、キンメダイなど多彩で豊かな地域資源に恵まれている。また、郷土料理や地域の食材を活かした料理による地域活性化の取組が進んでいる。

今議会に提案された千葉県総合計画案では、飲食店や料理教室などと連携し、料理に着目した新たな食のブランド化にも取り組むとされている。

4年度当初予算案に計上された「新しい千葉の食文化創生事業」は、この千葉県総合計画案を受けたもの

と思われるが、新しい千葉の食文化創生事業の目的は具体的にはどのようなことを行うのか。

知事 本県は、全国屈指の農林水産県であり、多彩な海の幸、山の幸に恵まれています。これらの食材を生かした人気料理を創り上げて本県の魅力を発信することを目指してまいります。

具体的には、地域の特産物を活用した「千葉料理」コンテストの開催や、千葉料理を提供する協力店舗の募集など、普及性のある新たな「千葉料理」を創出し、県産品にこだわりのある飲食店等で提供することにより、料理を介して本県の魅力を発信することを目指してまいります。

農林水産部長 来年度は、千葉料理を選定し、認知度向上に向けた様々な取組を実施してまいります。

具体的には、地域の特産物を活用した「千葉料理」コンテストの開催や、千葉料理を提供する協力店舗の募集など、普及性のある新たな「千葉料理」を創出し、県産品にこだわりのある飲食店等で提供することにより、料理を介して本県の魅力を発信することを目指してまいります。

温暖化対策も急務

●温暖化の弊への影響

秋本議員 昨年は、暖冬の影響で、梨の開花時期が前進化して作業日程がズレたことがあった。梨の栽培は、苗木を停職してから30年以上にわたり、栽培技術の進歩により生育状況の変化のほか、夏季の高温による果実障害や秋冬の低温期間の不足による芽芽障害の発生などが起きております。

このため、県では、ICTを活用して開花や病害虫の発生時期を予測する梨なびアプリの開発や、温暖化の影響を受けやすい「新高」に代わる「秋満月」の育成普及、芽芽障害を軽減するための施肥方法の改善などに取り組んでおります。

本県の梨生産における温

●県政についてのご意見、ご要望をお寄せください

秋本みちゆき

〒270-1421
白井市白井397

TEL.047-497-0169
FAX.047-427-0090